

●障害者支援施設ウインドヒル 〒761-0450 香川県高松市三谷町3851番地 TEL 050(3734)6707 FAX 087(888)4278
●ケアホーム風見の家 〒761-0450 香川県高松市三谷町3890番地 TEL 087(888)2557 FAX 087(888)2559

●発行/社会福祉法人ポム・ド・パン
●発行日/2012年9月30日



5月26日(土)、初夏の爽やかな日差しの中、地元三谷町の通谷西自治会の皆さま、リフレッシュクラブの皆さまをお招きし、バーベキューを実施しました。日頃お世話になっている地域の皆さまと一緒に、楽しいひと時を過ごすことができました。

過去最多のメダルを獲得してロンドンオリンピックが終了しました。そして、続いてパラリンピックが開幕されました。4年に一度の1回のチャンスに焦点を合わせて(目標点を定めて)日々の努力は本人だけが語れる宝物でしょう。社会福祉法人ポム・ド・パンでは、決してすぐに結果が出ることはありませんが、6ヵ月、1年、3年…何年かかっても個々本人が豊かな生活を送れるための支援を惜しむことなく継続、関わっています。

ある日、『あれっ、こんなことができるようになっていく』という場面に遭遇した時は、職員同士でスマイルになります。【継続は力なり】【経験は力なり】【一貫性は力なり】4年ごとに焦点を合わせることは困難ですが、常に前を見て、スモールステップであきらめず歩いていきます。

足踏みでもいい、一歩進んで、三歩下がってもいい、その人なりに、『成長を目指したい』と思っています。

先日、障害を持った娘さんをお持ちの友人から素敵な本を紹介して頂きました。

みなさんもご一読、いかがでしょうか？



～抜粋～

どうしても咲けない時もあります。

雨風が強い時、日照り続きで咲けない時、そんな時には無理に咲かなくてもいい。

その代わりに、根を下へと降ろして、根を張るのです。

次に咲く花が、より大きく、美しいものとなるために。

管理者 松原 正子

新たな支援プログラムの紹介

自閉症を持つ人達は他者とのコミュニケーションが苦手です。ウインドヒルではそのような障害の特性に対して、様々な支援の方法でアプローチし、人とのコミュニケーションが上手くできるよう支援しています。リズムダンスや健康まなび体操を通して、自分と相手の関係を感じる、相手を見る、待つ、気遣う。そして講師の話を聞き、正しい行動を教えて頂く、体を動かすなどコミュニケーションの基礎を学んでいきます。

また下記で紹介する支援プログラムはいずれも、外部から専門家を招き、プロの本物の技を教えてもらい、利用者が正しく覚えられるよう職員は関わっています。本物の技術をプロに直接教えてもらうことにより、正しい技術を獲得することができます。そして利用者自身の豊かな生活へとつながっていきます。

リズムダンス



平成24年5月より、「リズムダンス」を開始しました。リズムダンスとは社交ダンスを基本としたウェルフェアダンス(福祉)です。アキ・ダンススタジオの横井昭男さんが奥さまと共に月2回ボランティアとして関わってもらっています。利用者の方は当初はなかなか上手く出来ませんでしたが、今では他者と動きを合わせながらステップを踏むことができるようになりました。

健康まなび体操



平成24年6月より、「健康まなび体操」を開始しました。健康まなび体操とはバレエ、ヨガ、フィットネスの要素を取り入れた運動を含め笑いのエクササイズ、クラシックバレエのエクササイズなど様々な運動の要素を取り入れた体操です。講師に石川まなみ先生を迎え、毎月第2火曜日に実施しています。

ウインドヒルの主な活動報告

香川県障害者スポーツ大会



9月8日(土)、香川県立丸亀陸上競技場で行われた香川県障害者スポーツ大会に参加しました。男子400mリレー(100m×4)では見事3位に入り、銅メダルを獲得しました。

8月外食行事



8月8日(水)、9日(木)と、グループに分けて仏生山町にある『竜雲うどん』さんに行きました。参加した利用者の皆さんはうどんを美味しく頂いただけでなく、公共の場でのマナーなどを学びました。

フライングディスク大会



7月20日(金)、香川県知的障害者福祉協会主催のフライングディスク大会に参加しました。ウインドヒルの利用者では予選を10投中全てを的の中に投球し、決勝に進出した方もいました。

ポム・ド・パンの取り組み

ウォーキングの中の小さな支援



- ・タオルを使用し、ふたりで歩いています。ひとりで歩いていると、突発的に走り出すことがありますが、タオルをお互いに持つことで落ち着いて一緒に歩くことができます。
- ・利用者同士の相性を踏まえ、お互いに歩きやすいペアを組むことが大切です。
- ・ウインドヒルでは夕方、敷地内をウォーキングしています。



タオルを持っている手です。利用者同士が直接手をつなぐのではなく、タオルを持つということはお互いが自発的に「握る」「持つ」という「行為」であり、利用者の意思を尊重することでもあります。

どちらもタオルをグッと持っている写真です。自閉症の特性のひとつとして、決まってることは最後までやりぬく一面があり、ウォーキング中はお互いに握ったタオルを離すことはありません。

ポム・ド・パンの理念

障害があっても、誰からも愛される人に成長できるように、丁寧に寄り添って関わります。

障害があっても、正しいことを根気よく伝えることにより、何歳になっても成長することを信じます。

障害があっても、できることが増えるように、様々なことを獲得できるように、一貫性をもって、継続して支援します。

障害があっても、その方の得意なことを、大好きなことを見つけ、これを通して、生活基盤を作ります。

ウインドヒルと地元三谷町との関わり

☀️ バーベキュー行事



様々な行事に参加して下さっているボランティアの幸田さん



リフレッシュクラブ小野川先生

毎年恒例になっているバーベキューです。今年も自治会の皆さまやリフレッシュクラブの皆さま、ボランティアの方、保護者の方など多くの方に参加頂きました。ウインドヒルは知的障害や自閉症を持つ人達の生活の場というだけでなく、地域に根付き、地域の人たちが集まり、愛される施設を目指していきます。今後ともよろしくお願ひ致します。



ウインドヒルで採れた無農薬野菜の販売です。

☀️ 三谷保育園夏祭りに参加

7月14日(土)、地元の三谷保育所の夏祭りに、ウインドヒルのブースを出展させて頂く機会に恵まれました。園児さん、保護者の方と交流し、自閉症を正しく理解していただくための啓発活動やウインドヒルの広報活動を行いました。また『パリパリいりこ』やウインドヒルの畑で採れた『無農薬野菜』の販売させて頂きました。貴重な体験をさせて頂きました。ありがとうございました。

☀️ ケアホーム風見の家の活動

—地域の清掃をしています—



ケアホーム風見の家の利用者と職員は毎週金曜日の夕方、ケアホームの近隣の道端のゴミ拾いや草抜きなど清掃活動を行っています。自分たちが住む町を自分たちできれいにしています。

—工場見学に行きました—

8月24日、就労に向けてケアホーム風見の家の利用者が高松市林町にあります。株式会社アールアップサービスさんの工場を見学に行きました。



～地域の担い手となれるように～

障害者施設の中だけに限らず、地域の障害をもつ方、その家族のために 社会福祉法人としてできることは、なにか？

私自身が一人の母親として、一人の子を思う気持ちから始まり、地域の多くの皆さんに助けられ、ともに成長してきました。その過程があったからこそ、現在の環境にあることを感謝しています。いままで、頂いてきた元気、出会い、情報、たくさんの資源を、今、必要としている人達と共有することが、社会福祉法人ポム・ド・パンの重要なテーマのひとつです。その思いは、法人設立の当初よりの理念として掲げています。そして、いままさに奮闘している家族、保育士、支援員等の人達と障害児、者が「幸せ」を見出せるように連携を密に図っております。その思いに共感していただき、今回、出会いのあった2つの保育園からのメッセージを紹介させていただきます。

管理者 松原 正子

春日保育所「ひつじ雲の会」

ひつじ雲とは…

春日保育園で開いているハンディをもつお子さんのいらっしゃる御家族の小さな会です。

「ゆっくりでいいよ。空の雲のように、ゆらゆらゆれながらも1歩1歩自分自身の力で、自分のペースで力強く歩いて行ってほしい。」を基に、ひつじ雲と名づけられました。集まれる時に気軽に集まって勇気と希望を分かち合いたいと、平成13年に始まり今に至ります。

先輩お母さんの話を聞いたり、お子さんの様子を話し合いながら色々な情報交換をし、お父さん・お母さんのつながりができる事を願っています。最近では、何年もひつじ雲の会に足を運んできて下さる方と、新たなつながりで新しい方の参加も増え、保護者の方の輪が広がってきています。

また、ひつじ雲の会の間は、香川大学で教育を専攻する学生ボランティアの方たちが子どもたちと一緒に遊びながら過ごしてくれています。毎回来られるお子さんの成長も楽しみにしながら、お子さんとのかかわりを学ばせてもらっています。

今回(H24.5.23)は松原さんをお招きして、将来を見据えた話や個々の身近な悩みを具体的にやりとりすることで、日々の親子のかかわりのヒントをもらい“こうしてみよう”という前向きな気持ちになれるような表情を見せてくれる方もいました。また、今の悩みや思いを視点をかえてみることで悩み過ぎずに安心して子育てをしていくことや、お母さんが幸せであることの大切さを感じる事ができたように思います。

参加された方からは、松原さんのお話を聞いて元気になったり、前向きになれたという感想や、これから楽しんでいきたいという感想が多くありました。

また、保育に携わる私たちもひつじ雲に参加させてもらい松原さんやお母さんの話を聞くなかで、一生懸命子どものことを考え、かかわっていることを感じたり、普段はなかなか感じる事ができない“保護者の立場”の思いや、本音を聞くことができ、日々の自分たちの保育を振り返りながら、保護者の方への寄り添い方を考える良い機会となっています。

春日保育園 ひつじ雲担当:岩田



お話をお聞きし、前向きに力をいただきました。まわりの方に相談、情報を伝えながら、これから地域で楽しんできたいです。

子どもとの色々な出来事を1つ1つ、良い思いも、悪いと感じる思いも、両方大切にしていきたいなあと思いました。



今までずっと1人で抱えていた不安や悩みが、皆さんの声で聞いてよかったです。私自身が、強く、たくましく、明るく過ごしていけたらと、あらためて思いました。

大人になって人に愛される人になるために、今たくさんの人と関わらせてもらって、たくさんの光や水をもらい、将来ステキな花を咲かせる女の子になれるように、親の私もたっぷり愛情を注ぎたいと思います。



三谷保育園講演会 ((乳幼児期の子育てにおいて大切なこと))



子育てに、前向きに、もっとおおらかになってほしいもんだと、心がかるくなりました！！

子育ての不安や困った事などを体験を元にお話していただいて、すごく心に染みました。



「出会い」人との出会いこそ、自分の人生そのもの…そんな言葉が忘れられません。まさに、松原さんとの出会いは御賢明でした。これからの人生、いくつもの挫折、苦難があるでしょう。そんな時に、親としてどう支えたらいいのか、それについてのアドバイスをいただいた気がします。



子供にとって「心の教育」となる様な良い方向に進めばと望んでいます。



子供とこれからどのように向き合っていいたらといろいろ悩みますが、7月にはお兄ちゃんになり生活面でも変化があるので、1つ1つバランスをとりながら、大きくなってほしいと思っています。



職員コーナー

平成16年12月のウインドヒル開所から看護師としてお世話になっています。痛い、しんどいなど自覚症状を訴えることができない、症状があってもなかなか受診することができない利用者の健康管理は、疾病を予防することが一番だと思っています。感染症の予防のために気温の変化に応じた衣服の調節、換気、生活棟に戻った時の手洗い・うがいの励行、おやつや食事前には、手洗い後にアルコールスプレーを噴霧、虫歯予防のために毎食後の歯磨きはもちろん夕食後には仕上げ磨きをし、フッ素の塗布などを実施しています。

また、体力を維持するためにウインドヒルの地形を利用し施設内ウォーキングを実施しています。施設内ウォーキングは開所当初から毎日の日課に組み込まれ一年を通して行われています。継続することで、利用者の体力がついたのか体調を崩すことが少なくなりました。

利用者の年齢も少しずつ高くなり、これからは生活習慣病にも留意していかなければと思っています。職員、保護者の方の協力を得ながらこれからも利用者の健康管理に努めていきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。 金川 恵子

研修報告

- 平成24年 6月21日、6月22日 平成24年度施設等新任職員研修会 主催：(財)かがわ健康福祉機構
- 平成24年 6月27日、7月2日 平成24年度コミュニケーション支援研修 主催：香川県
- 平成24年 8月23日～25日 第20回自閉症セミナー 主催：(株)日本文化科学社（東京都）



ウインドヒルでは毎年、自閉症セミナーに参加しています。自閉症セミナーでは太田昌孝先生の『太田Stage』の理論と実践を、事例を踏まえながら解り易く、かつ専門的に専門家の先生たちが講義をしてくれます。職員はプロとしての知識と技術を東京の地で3日間の研修をとおして学んできます。

施設内職員研修～虐待とその予防策～の実施状況

- 第1回 4月24日(土) テーマ：適切な支援と不適切な支援（虐待等）について 支援員 村川 文生
 第2回 6月30日(土) テーマ：言葉・行動・記録から支援の再確認 支援員 鎌田 泰明

ウインドヒル見学にお越し頂きました

暑い中、たくさんの方がウインドヒルにお越し頂き、利用者の生活の様子やユニット制取り入れた生活棟などを見学されていました。見学を終えた皆様に、様々なご意見やご感想を聞かせて頂きました。下記のご意見ご感想は抜粋して掲載させて頂きました。

- 7月3日(火)まんのう町ばずるすの皆さま
 7月5日(木)香川県立香川東部養護学校PTAの皆さま
 8月8日(水)高知大学付属養護学校の職員の皆さま
 9月13日(木)、14日(金)香川県立香川中部養護学校PTAの皆さま

私たちの子どもが、将来、自立するために、私たちにはどのようなことができるのか、また、社会に理解してもらうためにどのようなことをすればよいのか、ということを考える機会となりました。

香川県立香川東部養護学校 親の会の皆さま



理念や支援方針等、本当に素晴らしくて親御さんならではの愛情が感じられるような方針に深く感銘を受けました。

収納の仕方等は、家庭でもすぐに実践できるような工夫が随所に見られ、とても勉強になりました。

まんのう町ばずるすの皆さま

